

平成 25 年度 学校関係者評価の結果報告書（1 学期分）

I 学校関係者による評価

（回収率：75%）

（ A：当てはまる B：やや当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない ）

	評価項目	A	B	C	D
1	子どもさんは、楽しく幼稚園に通っている。	75%	25%	0%	0%
2	子どもさんは、幼稚園から出された課題を、自分なりの力でやり遂げようとしている。	75	20	5	0
3	幼稚園は、教育方針や園行事などについてわかりやすく伝えている。	60	40	0	0
4	子ども一人一人が大切にされ、認められる幼稚園になっている。	55	40	5	0
5	幼稚園は、保護者の方の協力や場を生かした保育・教育を行っている。	55	35	5	5
6	幼稚園は、園内の清掃や整理整頓に努め、子ども達が気持ちよく園生活が送れるよう心掛けている。	80	20	0	0
7	幼稚園は、子ども達の安全に配慮した運営を行っている。	65	35	0	0
8	幼稚園は、保護者のニーズや願いを踏まえた保育・教育を行っている。	35	55	5	5

【全体の考察】

I の「学校関係者の評価」について、特に「楽しく幼稚園に通っている」や「園内の清掃や整理整頓」、「安全に配慮した園運営」では一定の評価を受けています。一方で、「保護者の協力等を生かした保育・教育」「保護者のニーズ等を踏まえた保育・教育」の評価項目では、5%ではありますが C 評価・D 評価それぞれを選択されていることに対しては、しっかりと受け止めて対処していく必要があると考えています。

また、II の教職員の自己評価結果に対しては、概ね理解していただいている一方で、C・D と評価した一部の教職員には自身の保育指導に迷いや悩みがあるのではと捉えてみえる面もありました。いずれにせよ、C・D と評価した項目の改善に努めるとともに、教職員が自信を持って A 評価を選択できるよう努力してほしいといった保護者の要望や願いが窺えました。

さらに、III の本園での教育に対する意見では、「子どもが楽しく通える園」、「子どもの様子が見れる園」、「子どもを愛情で包んでくれる園」になってくれることを願っていることが窺えました。

学校評価の取組は昨年度より実施しており、教職員にとっても学校関係者にとっても、現段階では、学校評価そのものの捉え方に個人差があることを考慮に入れつつ、今後も学校評価に継続的に取り組む中で、学校評価のあり方について共通理解を図っていきたいと思います。

II 別添の「平成 25 年度 教職員の自己評価集計結果とその考察（1 学期分）」についての学校関係者の主な感想・意見等

- ・幾つかの項目の中で「D 評価」を見受けましたが、特に地域との連携の項目が気になりました。上の子が通う学校では地域との連携に力を入れており、必然的に下の子も見学・参加する機会に恵まれ、様子を見てみると楽しそうだし、やはり大切な事だと日々感じているので、園でも地域との交流などの機会があればと感じました。家庭・園（学校）・地域の中で子ども達は成長して、子ども達が大人になった次世代に繋げていけるのが理想だと考えます。子ども達の今を大切にして、いろいろな経験を積み重ねていく事を、家庭と園と連携しながら目標としていけるような関係をお互いに築けたらと思います。
- ・「地域や自然や社会とのかかわり」が大きな課題となっているようなので、どのように園が対処するのか期待しています。
- ・全体的に A 評価と B 評価が多く、子ども達が安心して楽しく通える園のように思います。
- ・難しいことは分かりませんが、子どもが楽しく、かつ、出来る事を伸ばしながら育てていただき、また、卒園し小学校へ入学した子どもの様子を見てみると、集団生活の基礎教育を充分していただいていると思います。それは、指導の計画性や保育のあり方等の評価にも見てとれると思います。子ども達に十分伝わっており、とても感謝しています。
- ・今年は英語の時間を増やしていただいた点が、他にどのように子どもに影響するかと思っておりましたが、特に今の時点では、英語の楽しさを増やしていただいたと感じております。しかし、園の方針に関しては、C 評価があることに少し驚きました。園の方針や目標はとても大切だと思いますので、よろしくお願い致します。
- ・職員には、保護者に対し礼儀がない。お礼（言葉による）がない。都合が悪い事に逃げている。
- ・Ⅲの「保護者への対応」についてですが、どの先生もよく対応していただいていると思いますが、バス利用の場合、先生方とお話する機会が、お迎えの方々より少ないと思います。ですので、お迎えに行った際には、子どもの普段の様子等を聞かせてほしいと言っておられる保護者の方がいらっしゃいます。また、バス利用者は情報を得ることも難しく、困ることも多いと思います。病気の流行は勿論ですが、例えば、水遊び用のタオルの準備等の連絡は、園からは 1 週間程前にあります。家庭によっては、なかなか時間をとれない方もいらっしゃると思うので、もう少し早めに連絡があると助かると思います。特に、最初の年は戸惑うことも多かったと思います。
- ・集計結果をみた感じ、優等生的な評価だと感じた。環境の構成項目は特に疑問です。
- ・Ⅱの項目の健康と安全への配慮について、換気、採光、室温に気を配っていただいているのは、すごく感じます。また、保育者同士の協力や連携、クラスに関係なく適切な言葉がけや対応をしていただいているのも理解しています。Ⅳの項目の小学校との連携は、行動範囲をもっと増やしてみても良いと思います。Ⅴの項目の今日的課題に関する研修・研究では、障がいのある幼児の理解と対応についての研修をもっとしてほしいと思いました。以前、身近な人で、園から「言うことを聞かないので、市役所で調べて来てほしい」と言われ、市役所にも行ったが特に問題もなかったということでした。先生が勉強してほしい。
- ・保育の計画性や保育のあり方等、5 項目にわたる自己評価結果に概ね理解しましたが、その一方で、幼児への適切な援助が「あまり出来ていない」（平均 14%程）ことに一部の教職員が自身の保育指導

に迷いや悩みがあるのではないかと思います。この点については、園内における検討会や部外の研修会等に参加し、少しでも保育指導の向上につながればと保護者として願うところであります。日々の多忙な業務は十分に承知しておりますが、この点を踏まえた施策を実施していただければと思います。

- ・IVの項目「地域の自然や社会との関わり」とVの項目「研修と研究」のD評価が多いのが気になりました。「子育て支援と地域への開放」のC評価とD評価（45%）をA評価やB評価になるよう頑張ってもらいたい。上の子は、この幼稚園に入れなかったのですが、支援が充実していたり開放があったら入園を考えたかもしれないので、今後に期待しています。
- ・教育指導計画や行事等を幼児が興味を持てるように進めてもらっているのが、一日一日が無駄がなく過ごせているように思えました。幼児同士の関わりも言葉だけでは感情がコントロールしにくい年齢であるものの、上手に橋渡ししてもらいながら、良い関係を築くように努めてみえると思います。また、地域や自然、社会との関わりでは、回数は少ないですがミルクパットへ行き「自分でお金を払ってアイスクリームを買う」という体験をし、自信がついた様で「〇〇円は買えるけど、〇〇〇円では買えない」とか知ることができて良かったです。中学生の職場体験などは、幼児側も「なぜ中学生が来ているのか」理解できると思うので、主旨を簡単に教えてはどうかと思います。
- ・子どもや保護者との関わりの部分で高い評価だったので、安心して幼稚園に通わすことができます。他者評価も取り入れるといいと思います。
- ・評価項目のI及びIIでは、A評価、B評価がほとんど良かったです。C・Dの評価も少しありますが、いつも遅くまで残って準備してもらっていたりして、子どもも毎日喜んで幼稚園に通っているのが、全てがA・B評価でも良かったように思います。評価項目のIII「保護者への対応」も難しいことだと思いますが、嫌な顔をせず対応してもらえているので、個人的にはA評価です。IVの「地域や自然や社会との関わり」やVの「研修と研究」は園外でのことなので大変だと思いますが、今後、小学校へ就学することを思うと、A・B評価がもう少し増えると嬉しいかなと思います。
- ・個人的に、幼児教育で最も重要だと思っている幼児理解、特にスキンシップや傾聴、共感を教職員の方のほとんどの方がクラスの枠を越えて全園児に対して行おうと努力されていることが窺え、とても素晴らしい幼稚園だと感じました。また、地域との関わりや小学校との連携を大きな課題として、教職員の方々に意識づけされていることは、地域の一人として喜ばしく思います。課題克服を期待しています。評価の全体の内容から、教職員の方々が、今後も日夜研鑽を積んで下さると期待できると感じました。
- ・IVの「地域や自然や社会との関わり」については、園の大きな教育課題と考えておられるようですが、今年度は未就園児に対する支援が大変充実しておりありがたいと思っています。大変だとは思いますが、今後も是非続けてほしいと思います。

Ⅲ その他、本園の教育についての学校関係者の主な意見等

- ・子ども達が楽しく伸び伸びと過ごせる環境をつくっていただいていることに感謝しています。お陰様で、毎日の登園が楽しみようです。基本的には、園生活は私達保護者から離れた子ども達の新しい社会だと考えていますので、いい意味で子ども中心の、先生方に携わっていただく空間でいいかと思います。ただ、家庭の方針とずれたりすると、子ども達が混乱する場合もあるかと思っています。

ので、お互いが連携していけたらと考えています。子ども達にとって一番いい答えをお互い歩み寄れる関係でありたいと思います。

- 素敵な先生方が多く、子どもを安心して預けられる幼稚園だと思います。園長先生をはじめ、指導が行き届いていて、きちんとされていますし、挨拶もしていただいて、保護者からは（保護者の立場から）いつも、毎日ありがとうございますと感謝の気持ちでお任せしております。
- 冬場の生活発表会前などの体調管理には気をつかいます。基本は「半そでシャツ」らしいですが、体調不良の子だけに限らず、長そでシャツの着用も、自由にしてもらえたらなあと思います。
- いつもありがとうございます。子ども一人一人をきちんと見ていただき、遊び、教育、指導と、学ぶべきタイミングで学ばせていただき、日々、子どもが楽しく成長させていただいております。子どもが成長させていただく分、先生方の努力がとても大きいものと思います。先生方にもご無理のない程度で、日々よろしくお願い致します。
- 我が家では、食事のマナーをしっかりと教えたいと思っています。例えば、左手でお茶碗を持つ。口を閉じて食べる等です。すごく当たり前の事なのですが、以前は出来ていた事が、「幼稚園では、他の子が……だった」と出来なくなっていることもあります。たくさん子ども達を見るのは先生方も大変だとは思いますが、最低限のマナーに関しては注意していただけると助かります。
- 表向きの行動はいいので、内面をきちんとしてほしい。
- 今、園バスを利用しているのですが、連絡ノートに、こちらから質問したらその返答やその日の子どもの園生活の様子を書いていただけるのですが、もっと毎日でも園の生活やどんなことをしているのか知りたいです。先生方が忙しいのは十分わかっていますが、子どもがまだ小さくて心配ですので、よろしくお願いします。
- 英語活動を楽しみにしています。アルファベットが分かるようになり、家庭でパソコンのローマ字打ちを教えるのに役立っています。姉、兄も藤幼稚園で英語を教えていただいたので、小学校での英会話の授業は戸惑うことなく楽しく過ごしているようです。お陰で、姉はヒヤリングはいつも100%です。
- 幼稚園の看板でもある英語教育に力を入れていただけることになって、嬉しく思います。
- たくさん子どもがいる中でも、その時その時に褒めてもらったり注意してもらったりしているので、良い事、悪い事、その時々にする事など、いろんな事を考えながら行動できるようになってきたと思います。一人一人に向き合っているからだと思うので、感謝しています。
- 他の幼稚園の方に、「藤幼稚園は、頭から押さえつけるような教育ではなく、伸び伸びとしていて評判がいいよ」と言われたことがあります。
- 園の教育方針をネットで拝見させていただきました。「世界の子もとてをつなげる子」が一番最初にありましたが、ぜひ言葉だけでなく、幼いなりにも世界の子も達の現状を知って、「共に助け合える」ことを本当に知ってほしいと思います。そういうところから、子ども達に“物を大切にすること”や“誰かの役に立てる”ことを知ってほしいです。もうすでにされているかもしれませんが…。